

2025年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月12日

上場会社名 株式会社ジョイフル 上場取引所 福
コード番号 9942 URL http://www.joyfull.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴見 くるみ
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 野島 豊 (TEL) 097-504-2020
定時株主総会開催予定日 2025年11月21日 配当支払開始予定日 2025年10月27日
有価証券報告書提出予定日 2025年9月16日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期の連結業績 (2024年7月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	69,551	5.4	3,202	△18.6	3,216	△17.8	2,299	△30.7
2024年6月期	65,957	11.6	3,936	127.1	3,910	114.6	3,319	106.1

(注) 包括利益 2025年6月期 2,262百万円 (△32.3%) 2024年6月期 3,340百万円 (98.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	74.39	—	20.3	10.4	4.6
2024年6月期	107.46	—	37.6	13.1	6.0

(参考) 持分法投資損益 2025年6月期 一百万円 2024年6月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	31,618	12,403	38.9	398.17
2024年6月期	30,422	10,427	34.0	334.72

(参考) 自己資本 2025年6月期 12,312百万円 2024年6月期 10,343百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	3,717	△3,954	△1,445	1,779
2024年6月期	6,166	△1,894	△3,024	3,476

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00	308	9.3	3.5
2025年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00	309	13.4	2.7
2026年6月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		9.8	

3. 2026年6月期の連結業績予想 (2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,630	3.0	2,410	△4.8	2,410	△5.2	1,550	△25.3	50.13
通 期	72,330	4.0	4,880	52.4	4,890	52.0	3,150	37.0	101.87

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期	31,931,900株	2024年6月期	31,931,900株
② 期末自己株式数	2025年6月期	1,010,509株	2024年6月期	1,030,788株
③ 期中平均株式数	2025年6月期	30,911,168株	2024年6月期	30,890,186株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年6月期の個別業績(2024年7月1日~2025年6月30日)

		(%表示は対前期増減率)							
		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期		40,860	10.1	3,052	△34.0	3,069	△33.1	2,370	△44.2
2024年6月期		37,124	19.8	4,627	167.3	4,590	166.0	4,248	171.1

		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
		円 銭	円 銭
2025年6月期		76.67	—
2024年6月期		137.52	—

(2) 個別財政状態

		総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
		百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期		30,246	11,237	37.2	363.43
2024年6月期		29,050	9,195	31.7	297.57

(参考) 自己資本 2025年6月期 11,237百万円 2024年6月期 9,195百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費において持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復傾向にありますが、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の長期化、中国経済の減速懸念、ウクライナ情勢の長期化、通商政策などアメリカの政策動向による影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界においては、個人消費やインバウンド消費は増加傾向にありますが、昨今の米の価格の高騰や、エネルギー価格、人件費、原材料価格の上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは今後の中長期的な成長戦略を実現するため、既存のイトイン事業はもちろんのこと、テイクアウトやデリバリー販売、量販店や通販サイトを通じた販売の強化、社員独立フランチャイズ店舗の拡大など子会社を含めたグループ全体のパフォーマンス向上に取り組んでまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続して提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析した上で、グランドメニューの改定を2回、「創業祭」「美味しい!! 夏めし到来」などのフェアを7回行いました。

グランドメニューの改定では、5種類のチーズで美味しさUPした「5種チーズのとろ〜りチーズインハンバーグ」、博多明太子を使用した「明太子をたっぷり使ったスパゲティ（食卓のやまや明太子使用）」、ジョイフル初の正統派そば「野菜かき揚げのぶっかけおろしそばと釜揚げしらす丼」をメインに、お得にお腹いっぱいになれる倍盛りメニューやパフェを中心としたデザートメニューの充実、またランチではコストパフォーマンスの高い7つの新メニューを用意し、健康志向の方には野菜とたんぱく質が摂れるメニューなど、バラエティに富んだメニューを加えました。創業祭では、ジョイフル定番のミックスグリルがさらに大増量で楽しめる「どど〜ん! っと大きなミックスグリル」、グリルメニュー・セットメニュー・デザートメニューから自由に組み合わせが楽しめるお得なセット「創業祭選べる得々セット」、人気のチーズケーキが創業祭だけの、ほろ苦モカフレーバーの大人味として変身する「JillさんのN.Y. チーズケーキ(モカ風味)」といったお客様への日頃の感謝の気持ちを込めた商品を揃えました。

さらに、8月にPEANUTSとのコラボレーションメニュー第2弾を販売したほか、冬には人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボレーションを2回にわたり行い、「竈門炭治郎（かまどたんじろう）の炭焼きソースハンバーグコンボ」「蟲柱 胡蝶（こちょう）しのぶの藤色蝶々パフェ」などの商品を販売し、累計100万食を達成しました。また、4月からはTVアニメSPY×FAMILYとの「ロイドのスパイグリーンハンバーグプレート」をはじめとしたコラボレーションメニューを販売しました。

営業施策では、重点的な取り組みとして、料理のクオリティ維持・向上を目的に作業チェックシートを活用してひとつひとつの作業の徹底を行い、良い品質で、見た目にもきれいで、鮮度の良いおいしい料理を安定的に提供できるように努めてまいりました。

また、販売促進として、各種コラボレーションTVCMやジョイフル宣伝部長の秋山竜次さん（ロバート）が出演する新TVCM「春のJOY-1 グランプリ」等を放映しました。さらに、7月には首都圏のお客様に向け、「美味しくて楽しいジョイフル」をご体験いただくために、渋谷PARCOに期間限定でPOP UPストアをオープンしました。12月には全国の店頭でのQRコード決済の導入を順次開始し、更なるお客様の利便性の向上を図っております。3月には大好評いただいている今期2回目となる一般のお客様やマスコミを対象とした新商品試食会&福岡工場見学ツアーの体験イベントを開催し、世界にひとつだけのオリジナルパフェ作りや、製造・配送の様子を見ることができると好評でした。6月には子育て世帯に向けた「キッズ半額キャンペーン」を実施しました。また、店頭でのQRコード決済を全店に導入し、更なるお客様の利便性の向上を図っております。

当連結会計年度における店舗数は、グループ直営店8店舗の出店、グループ直営店3店舗の退店により661店舗となりました。また、グループ直営からフランチャイズへ65店舗転換及びフランチャイズからグループ直営へ1店舗転換を行ったことにより、グループ直営456店舗、F C 205店舗となりました。

以上の取り組みを行った結果、当連結会計年度における経営成績は、売上高は69,551百万円（前期比5.4%増）、営業利益は3,202百万円（前期比18.6%減）、経常利益は3,216百万円（前期比17.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,299百万円（前期比30.7%減）となりました。

なお経営指標としている「総資本経常利益率」「売上高経常利益率」「労働生産性」及び「株主資本当期純利益率」の数値改善のため、より一層の経営努力に努めてまいります。

また、当社は保険代理店業を行う特例子会社を所有しておりますが、連結業績に占める割合が極めて軽微であり、当社グループの報告セグメントがレストラン事業一つであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

i) 資産の部

当連結会計年度末の総資産は31,618百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,196百万円の増加となりました。これは主に、有価証券の減少1,750百万円、建物及び構築物の増加1,345百万円、投資有価証券の増加947百万円、繰延税金資産の減少488百万円、売掛金の増加390百万円、原材料及び貯蔵品の増加376百万円、工具、器具及び備品の増加206百万円、建設仮勘定の増加155百万円によるものであります。

ii) 負債の部

当連結会計年度末の負債合計は19,215百万円となり、前連結会計年度末に比べ778百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少1,414百万円、短期借入金の増加1,280百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少864百万円、未払金の増加635百万円、未払消費税等の減少560百万円、買掛金の増加312百万円、リース債務の減少146百万円によるものであります。

iii) 純資産の部

当連結会計年度末における純資産は12,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,975百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加1,990百万円、その他有価証券評価差額金の減少40百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、1,779百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況については以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前期比2,449百万円減少して3,717百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、税金等調整前当期純利益2,981百万円、減価償却費1,776百万円、棚卸資産の増減額△408百万円、未払又は未収消費税等の増減額△666百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前期比2,060百万円減少して△3,954百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出△3,018百万円、投資有価証券の取得による支出△1,005百万円、敷金及び保証金の回収による収入30百万円、その他44百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前期比1,578百万円増加して△1,445百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、短期借入金の純増減額1,280百万円、長期借入金の返済による支出△2,379百万円、配当金の支払額△307百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期
自己資本比率 (%)	19.5	25.1	34.0	38.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	81.0	99.3	110.4	108.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	244.7	291.6	131.4	187.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	45.7	35.4	49.0	39.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- (注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務諸表により計算しております。
- (注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
- (注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。
- (注4) 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、激化する国際競争の中で、少子高齢化の急速な進行とそれに伴う国内人口の減少という歴史的な構造変化に対応していかなくてはなりません。この構造変化は、当外食産業に「直接的な影響」をもたらすことが想定され、あわせてアメリカの通商政策の影響による景気の下振れリスクの高まりや物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ、金融資本市場の変動等の影響により、予断を許さない経営環境が続くことが予想されます。

このような状況のもと、当社は暮らしのすぐそばにある、地域で一番身近なレストランを目指すことで、どのような環境下にあっても、お客様に受け入れられるビジネスモデルを追及し続けてまいります。

なお、この実現のために当社が対処すべき課題は以下の通りであります。

商品施策としては、多様化するライフスタイルに加え、国内の消費動向の変化に合わせた新商品の開発と主力商品・既存商品のブラッシュアップに引き続き取り組んでまいります。

また、各地域で異なる味の嗜好性を踏まえた、最適な商品の開発を行なうとともに、店舗における調理・提供工程の最適化により品質を高め、商品のお値打ち感を向上させることに取り組んでまいります。

営業施策としては、店舗のQSC（良い品質・良いサービス・清潔な環境）の向上を目的に、社員教育施設である「ジョイフルカレッジ」を効果的に活用し、社員の成長過程に応じたフォロー研修や模擬店舗を活用した実践的な研修など、質的・量的に教育を充実させて店舗にフィードバックすることにより、店舗状態の向上と売上高の最大化に繋げてまいります。

売上高対策として、店舗状態向上のために店長のマネジメント力や従業員のオペレーション力の強化の継続に加え、便利でお得なスマートフォン専用無料アプリ「ジョイフルアプリ」の更なる充実、店内QRオーダーシステムや店頭でのQRコード決済のジョイフル全店導入を行ないました。加えて、ライフスタイルの変化に対応するテイクアウト販売やデリバリー販売、自社工場製品の外部販売の更なる強化などを進めてまいります。

また、社員独立フランチャイズ店舗を拡大し、収益の安定化を図ってまいります。

以上により、次期における連結業績は、売上高72,330百万円、営業利益4,880百万円、経常利益4,890百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,150百万円を見込んでおります。

また、期末配当につきましては、1株あたり5円の配当を決議させていただいております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を採用していますが、IFRS（国際財務報告基準）については、今後も制度動向等を注視し適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,726	1,779
売掛金	1,126	1,517
有価証券	1,750	—
商品及び製品	684	716
原材料及び貯蔵品	912	1,288
前払費用	609	559
短期貸付金	40	36
未収入金	149	156
その他	6	120
流動資産合計	7,006	6,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,402	10,748
機械装置及び運搬具（純額）	1,400	1,380
工具、器具及び備品（純額）	551	758
土地	7,244	7,244
リース資産（純額）	373	277
建設仮勘定	37	193
有形固定資産合計	19,010	20,602
無形固定資産	362	392
投資その他の資産		
投資有価証券	116	1,064
長期貸付金	306	269
長期前払費用	36	29
繰延税金資産	1,032	543
敷金及び保証金	2,547	2,537
その他	5	4
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,043	4,448
固定資産合計	23,416	25,443
資産合計	30,422	31,618

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,874	2,187
短期借入金	10	1,290
1年内返済予定の長期借入金	2,375	1,510
リース債務	138	145
未払金	1,534	2,170
未払費用	2,916	2,811
未払法人税等	105	91
未払消費税等	801	240
賞与引当金	100	96
その他	221	347
流動負債合計	10,079	10,891
固定負債		
長期借入金	5,115	3,700
リース債務	462	315
繰延税金負債	4	6
再評価に係る繰延税金負債	23	23
役員退職慰労引当金	152	152
退職給付に係る負債	914	848
資産除去債務	3,164	3,186
その他	78	89
固定負債合計	9,915	8,324
負債合計	19,994	19,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	4,237	4,229
利益剰余金	7,417	9,407
自己株式	△1,540	△1,510
株主資本合計	10,214	12,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	△7
土地再評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	63	52
退職給付に係る調整累計額	32	41
その他の包括利益累計額合計	128	85
非支配株主持分	84	91
純資産合計	10,427	12,403
負債純資産合計	30,422	31,618

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	65,957	69,551
売上原価	22,068	26,255
売上総利益	43,889	43,295
販売費及び一般管理費	39,953	40,092
営業利益	3,936	3,202
営業外収益		
受取利息	5	6
不動産賃貸収入	112	108
助成金収入	12	29
その他	69	86
営業外収益合計	200	229
営業外費用		
支払利息	122	93
不動産賃貸原価	79	80
固定資産除却損	8	30
その他	15	10
営業外費用合計	225	215
経常利益	3,910	3,216
特別利益		
固定資産売却益	29	21
特別利益合計	29	21
特別損失		
減損損失	246	250
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	6
特別損失合計	246	256
税金等調整前当期純利益	3,693	2,981
法人税、住民税及び事業税	157	147
法人税等調整額	205	525
法人税等合計	363	672
当期純利益	3,330	2,308
非支配株主に帰属する当期純利益	10	9
親会社株主に帰属する当期純利益	3,319	2,299

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
当期純利益	3,330	2,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△40
土地再評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	26	△14
退職給付に係る調整額	△8	8
その他の包括利益合計	10	△46
包括利益	3,340	2,262
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,323	2,255
非支配株主に係る包括利益	16	7

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	4,248	4,406	△1,573	7,182
当期変動額					
剰余金の配当			△308		△308
親会社株主に帰属する当期純利益			3,319		3,319
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△10		32	22
連結子会社の自己株式取得による持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△10	3,010	32	3,032
当期末残高	100	4,237	7,417	△1,540	10,214

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	41	△0	42	41	124	67	7,374
当期変動額							
剰余金の配当							△308
親会社株主に帰属する当期純利益							3,319
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							22
連結子会社の自己株式取得による持分の増減							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△7	—	21	△8	4	16	21
当期変動額合計	△7	—	21	△8	4	16	3,053
当期末残高	33	△0	63	32	128	84	10,427

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	4,237	7,417	△1,540	10,214
当期変動額					
剰余金の配当			△309		△309
親会社株主に帰属する当期純利益			2,299		2,299
自己株式の取得		△8		30	22
自己株式の処分					—
連結子会社の自己株式取得による持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△8	1,990	30	2,012
当期末残高	100	4,229	9,407	△1,510	12,226

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	33	△0	63	32	128	84	10,427
当期変動額							
剰余金の配当							△309
親会社株主に帰属する当期純利益							2,299
自己株式の取得							22
自己株式の処分							—
連結子会社の自己株式取得による持分の増減							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△40	△1	△11	8	△43	7	△36
当期変動額合計	△40	△1	△11	8	△43	7	1,975
当期末残高	△7	△1	52	41	85	91	12,403

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,693	2,981
減価償却費	1,726	1,776
減損損失	246	250
受取利息及び受取配当金	△6	△14
支払利息	122	93
棚卸資産の増減額 (△は増加)	149	△408
前払費用の増減額 (△は増加)	△89	50
未収入金の増減額 (△は増加)	2	△6
仕入債務の増減額 (△は減少)	48	312
未払金の増減額 (△は減少)	655	1
未払費用の増減額 (△は減少)	133	△105
未払又は未収消費税等の増減額 (△は減少)	△14	△666
その他	△230	△292
小計	6,438	3,973
利息及び配当金の受取額	3	11
利息の支払額	△125	△94
法人税等の支払額	△149	△172
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,166	3,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,950	△3,018
有形及び無形固定資産の売却による収入	4	21
投資有価証券の取得による支出	—	△1,005
敷金及び保証金の差入による支出	△36	△20
敷金及び保証金の回収による収入	54	30
資産除去債務の履行による支出	△14	△8
その他	48	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,894	△3,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10	1,280
長期借入れによる収入	3,900	100
長期借入金の返済による支出	△6,498	△2,379
配当金の支払額	△305	△307
リース債務の返済による支出	△129	△138
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,024	△1,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,271	△1,697
現金及び現金同等物の期首残高	2,204	3,476
現金及び現金同等物の期末残高	3,476	1,779

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、報告セグメントがレストラン事業一つであるため、記載を省略しております。

(関連情報)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

当社グループは、報告セグメントがレストラン事業一つであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

当社グループは、報告セグメントがレストラン事業一つであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)		当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	
1株当たり純資産額	334.72円	1株当たり純資産額	398.17円
1株当たり当期純利益	107.46円	1株当たり当期純利益	74.39円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。